2020
JAHFA
JAPAN AUTOMOTIVE HALL OF FAME
論壇
Contribution to JAHFA

お客様に寄り添ったクルマづくりDNGAを本格展開

ダイハツ工業株式会社
代表取締役社長
奥平　総一郎

はじめに

この度の新型コロナウイルスにより亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、多大なご苦労をされている方々に心よりお見舞い申し上げます。また、私たちの暮らしを支えて頂いている関係者の方々へ、心より感謝申し上げます。

さて、私たちダイハツ工業は、お客様一人ひとりを照らし、きめ細やかな商品やサービスを実現することで、輝いたライフスタイルをご提供する。そして、暮らしや環境への負担が少ないスモールカーで軽やかな気持ちをご提供します。これら「Light you up～らしく、ともに、軽やかに～」の考え方を指針に、中長期経営シナリオ「D-challenge2025」のもと、「モノづくり」と「コトづくり」の両輪で、ダイハツブランドの進化を目指しております。

「DNGA」の展開（ダイハツのモノづくり）

昨年は、ダイハツの新世代のクルマづくりである、「DNGA（Daihatsu New Global Architecture）」元年となりました。自動車業界が100年に一度の大変革期を迎える中、CASEへの対応と、スピーディな商品ラインナップ拡充を同時に実現するために、軽自動車を基点に小型車（A・Bセグメント）まで設計思想を共通化した「一括企画開発」を取り入れ、パワートレーンを含むすべてのプラットフォーム構成要素を同時に刷新いたしました。

「良品廉価」「最小単位を極める」そして「先進技術をみんなのものに」というキーワードがDNGAの３本柱であり、予てよりダイハツが大切にしてきたクルマづくりの基本思想です。その第１弾として、軽乗用市場における最量販カテゴリー「スーパーハイト」市場を創出した「タント」をフルモデルチェンジし昨年７月に発売しました。「タント」ならではの広い室内空間を存分に生かす各種装備を採用し、子育てファミリーからご高齢の方まで、すべてのお客様が安心して快適にご使用いただける一台になったと考えております。

そして、第２弾としてコンパクトSUVの新型「ロッキー」を同11月に発売しました。市場が拡大するSUV市場に、ダイハツらしい室内、荷室は広く、コンパクトサイズで取り回しの良いSUVとして投入いたしました。ダイハツとして初めてスマートフォンとクルマをつなぐ「ダイハツコネクト」を採用し、使用するお客様だけでなく周りのご家族様にも安心してお乗りいただきたいと考えています。また、この「ロッキー」は、DNGA商品として初めて「ライズ」としてトヨタ自動

DNGA第２弾商品　コンパクトSUV「ロッキー」

DNGA第３弾商品　軽クロスオーバー「タフト」

車のラインアップに加わったモデルです。

今年(2020年)は、DNGAを軸に中期経営シナリオ「D-challenge2025」の実現に向けて飛躍の年としたいと考えておりました。新型コロナウイルスという未曽有の危機に見舞われた中ですが、６月に新型軽クロスオーバー「タフト」を発売することができました。より安全に、より安心してお乗りいただけるように新型ステレオカメラを搭載し、スマートアシスト(スマアシ)の衝突回避支援ブレーキ機能の対応速度を引き上げるとともに、二輪車や夜間の歩行者検知を実現しました。DNGAによる高い基本・安全性能に加え、SUVらしいタフさ、力強さを感じるデザインと圧倒的な開放感を感じられるガラスルーフ「スカイフィールトップ」を備え、それらを軽自動車らしいお求めやすい価格で提供していることで大変ご好評を頂いております。今後も、お客様に寄り添ったクルマづくりでダイハツらしい電動化の実現、DNGAの海外展開に取り組んでまいります。

お客様や地域との接点を広げるダイハツのコトづくり

ダイハツは、「生活者＆地域に最も近い、親近感のあるブランド」を目指し、地域密着でお客様に寄り添い、ますます進行する高齢化や過疎化に伴う社会問題(高齢ドライバーや公共交通機関減少等)解決に向け少しでも貢献すべく活動を推進しております。

その一つとして、高齢化が進む地域社会で「いくつになっても自由に移動できる自立した生活」を地域と連携してサポート」するため地域密着プロジェクトに取り組んでまいりました。その中で、「産・官・学・民」連携した「健康安全運転講座」を全国の販売会社で実施しています。

地域密着プロジェクト「産・官・学・民の連携」

また、MaaS(モビリティ・アズ・ア・サービス)の取り組みとして、通所介護事業者の送迎最適化に向けた支援システムである「らくぴた送迎」を2018年から販売開始致しました。らくぴた送迎はスマートフォンを活用した簡易テレマティクスであり、誰でも簡単かつ最適な送迎計画を作成することが可能となるシステムで、各介護事業者の送迎業務の効率化をサポートしています。

一方、地域によっては介護人材不足等により個別送迎に課題が見えてきたため、2019年から「福祉介護領域における共同送迎の実現に向けた取り組み」を開始しました。先の「らくぴた送迎」と合わせて、国際オートアフターマーケットEXPO(IAAE)実行委員会が主催する『MaaS & Innovative Business Model Award (MaaSアワード)』の「大賞」をいただきました。

これからも「お客様や地域の方々との接点拡大」を主眼とした活動を通じて、より良い地域モビリティ実現に向けて取り組んでまいります。

最後に

今後も「Light you up」の考えのもと、「モノづくり」と「コトづくり」の両輪でダイハツブランドを進化させ、お客様に寄り添ったクルマづくりを続けていくことで、「お客様に最も近いブランド」に成長させてまいります。